

一般社団法人 National Clinical Database
2020 年度事業報告書

National Clinical Database（以下 **NCD**）は臨床現場の医療情報を体系的に把握し、医療の質の向上に資する分析を行う。その結果を以て一般市民に最善の医療を提供し、適正な医療水準を維持することを目的とする。2020 年度は、以下の事業を実施した。

（1）医療情報を集積したデータベースの維持管理及び提供について

- データ入力仕様の要望を加盟学会より受け付け、改訂を行い、正確なデータ収集を図った。ソフトウェアの品質向上に努め、システム保守及び管理業務のチームを安定的に形成した。
- 症例登録において、追跡調査の補助機能を継続的に開発し、フォローアップ情報の入力向上と状況把握を支援した。
- **JCVSD-A**、**JCVSD-C**、消化器外科、乳腺外科、呼吸器外科、**J-PCI** 等の領域で、症例登録データの集計・分析結果を施設診療科が確認できるフィードバック関連業務を推進した。
- **DPC**・レセプト情報の集積システムの管理およびデータ利活用の可能性について研究した。

（2）データベースを活用した医療水準の評価及び臨床研究の支援について

- 各学術団体によるデータ利用研究や学術調査、各学会のアンニュアルレポート作成を支援した。
- 各領域での **Site-Visit** や **Web-Audit** において、データ検証等を支援した。
- 自施設データダウンロード機能を継続的に提供し、医療品質の評価等に寄与した。
- 院内情報システムに中で **NCD** 症例アップロード機能との連動を図った。

（3）データベースの運用による関連団体との業務連携について

- 専門医制度との連携において、各種申請システム等の開発及び維持管理を継続的に行った。
- 産学官連携において、医療機器等に関する製造販売後データベース調査を支援した。
- 各領域の学術総会において、**NCD** 関連のプログラム等での業務連携を行った。
- **NCD10** 周年事業を通じて、事業の経過や研究開発の成果等について周知した。

（4）法人の目的を達成するために必要な関連事業ならびに業務について

- 施設会費プランの検討、施設会員登録に関する周知活動等を行った。
- セキュリティ保持、知的財産の管理、法・倫理的課題の解決を図った。
- データセンターとしての運用条件の見直しと試験等を行った。

以上